



# 民需中心の産業が日本を支えていたのでは？

「台湾有事」を声高に叫ぶ米に呼応、岸田政権は武器の爆買いに走っている。

## 民需と軍需の違い

岸田自公政権は昨年未の安保三文書で、五年間の軍需費を四十三兆円とする方針。それで三菱重工の上半期の軍事部門の受注は前年比五倍の九九九四億円。その中で大きいのは敵地攻撃のミサイル。

三菱重工は軍需部門の人員を六、七千人、二、三割増やすと云う。

## 人員増に見合う仕事を

しかし、戦争がなければ軍需は実際に使われる事が無い。それまで、その技術の真価は分からない。それでは技術は進歩しない。

このように、どの会社も軍需部門の人員を増やす。体制を整えると継続して受注が欲しい。「中国北朝鮮ロシアの脅威」を叫び、政権党に献金、軍事予算を増やそうとする。

外交ルートで話し合えば戦争は避けられ、反撃ミサイルを撃つ機

一時期日本の産業が世界を席卷したが、その時、日本の製造業は専ら民需品を生産。各企業は大衆の評価に耐える製品を作るのに邁進した。それが日本の産業、技術力を支えていたのではないか。あなたはどうか思われますか？

## メタセコイアの紅葉

(横浜市児童遊園地)

横浜市保土ヶ谷区狩場町

二〇二三年十一月



横浜市児童遊園地は箱根駅伝の東海道、権田坂の近くある。坂の東側の山林が児童遊園地。拙宅から歩いて十五分なのでしばしば訪れる。十四ヘクタールの敷地に、竹林、梅林があり、ドンダリの出来る椎や桐の森があり、広場がある。遊園地と云っ

てもブランコや滑り台があるだけ。自然の中で子供達は走り回るのがこの公園の楽しみだ。東側には英連邦軍墓地の森林がある。そこから流れ出た小川が目前の池に注ぐ。二本のメタセコイアが大きく育って紅葉を迎えている。紅葉の時期が少しずれているようだ。右の木は頂部はまだ少し緑っぽい。冬枯れのメタセコイアは、どの枝先も垂れ下がっていた。こうして冬を迎えるのだろうか。土日だと子供達が釣り糸を垂れるが、この日は、年配者だけだった。

